



交付運用報告書

損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2022年7月16日～2023年7月18日

第25期 決算日：2023年7月18日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Aコース：MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）・Bコース：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



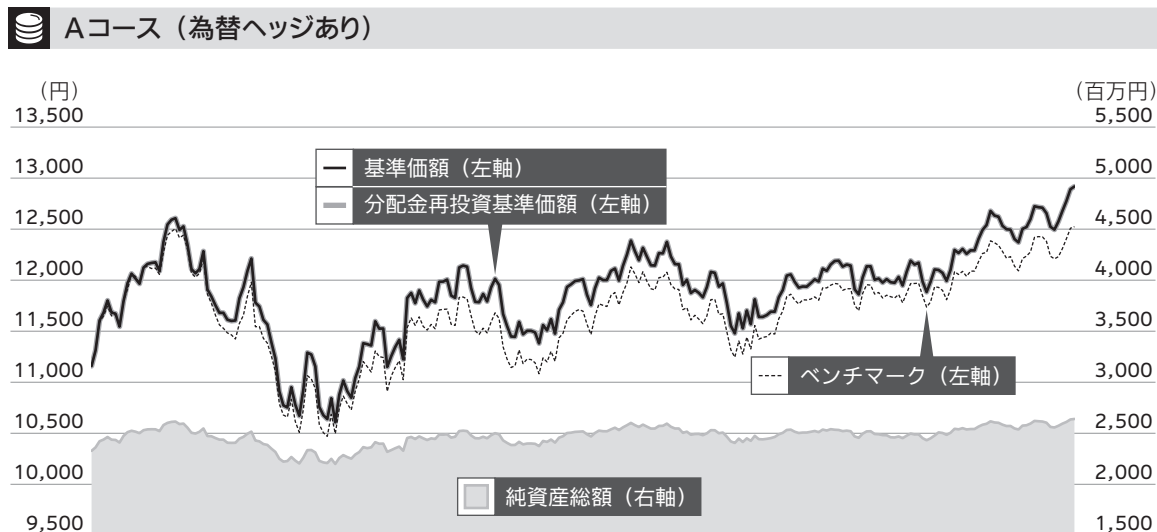
0120-69-5432

	第25期末 2023.7.18	
	Aコース （為替ヘッジあり）	Bコース （為替ヘッジなし）
基準価額	12,918円	24,031円
純資産総額	2,640百万円	3,108百万円
騰落率※	15.8%	21.7%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



第24期末
2022.7.15

第25期末
2023.7.18

第25期首

騰落率

第25期末

基準価額
11,159円

15.8%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
12,918円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Aコース（為替ヘッジあり）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことにより、当ファンドの基準価額が上昇しました。なお、当ファンドは為替をヘッジしているため、保有外貨建資産に対する為替変動の影響は大きく受けませんでした。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+24.7%となりました。

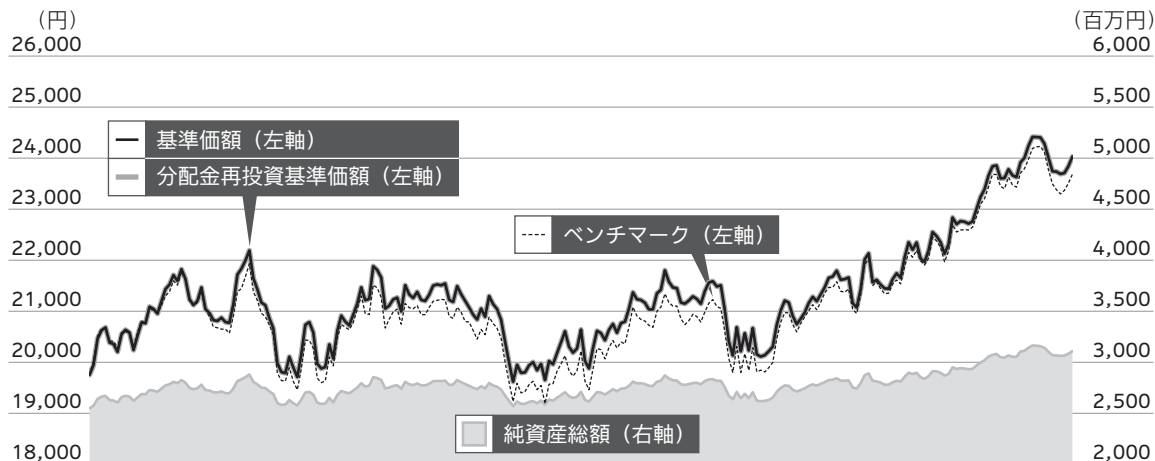
ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。また、為替において、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

📊 Bコース（為替ヘッジなし）



第24期末
2022.7.15

第25期末
2023.7.18

第25期首

騰落率

第25期末

基準価額
19,753円

21.7%
 (分配金再投資)
 (基準価額ベース)

基準価額
24,031円
 (期中分配金)
 (合計0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Bコース（為替ヘッジなし）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことから、当ファンドの基準価額が上昇しました。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+24.7%となりました。

ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。また、為替において、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

📁 Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第25期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	249円	2.107%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は11,832円です。</div>
（投信会社）	(125)	(1.054)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(112)	(0.943)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(13)	(0.111)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.033	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(4)	(0.030)	
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.005)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.065	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(6)	(0.047)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	262	2.211	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

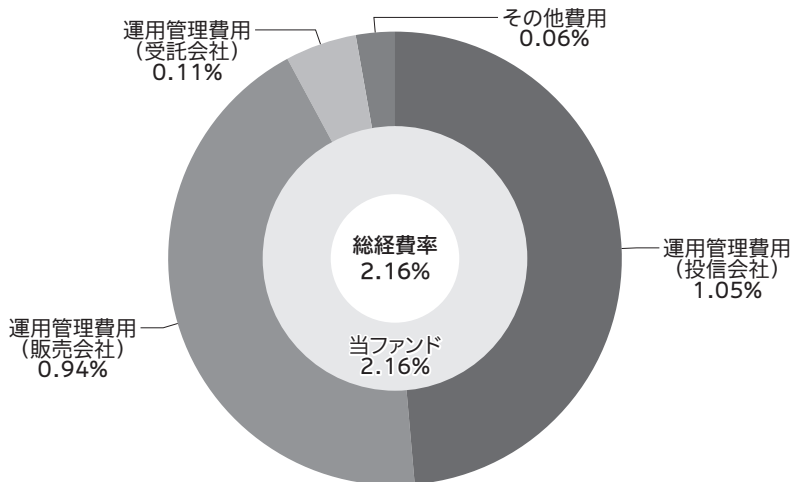
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.16%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第25期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	448円	2.107%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は21,274円です。
（投信会社）	(224)	(1.054)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(201)	(0.943)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(24)	(0.111)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.033	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(6)	(0.030)	
（投資信託証券）	(1)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.005)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	14	0.064	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(10)	(0.047)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(3)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	470	2.209	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

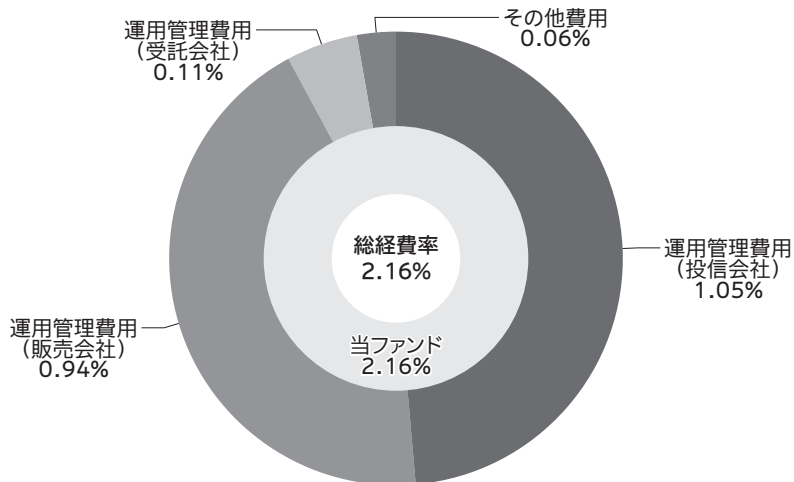
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.16%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

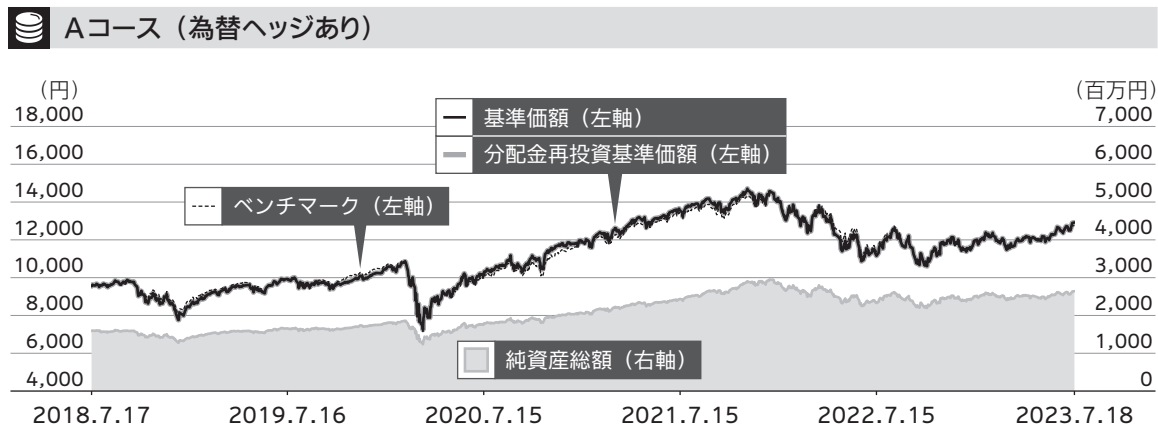
注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2018.7.17～2023.7.18



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

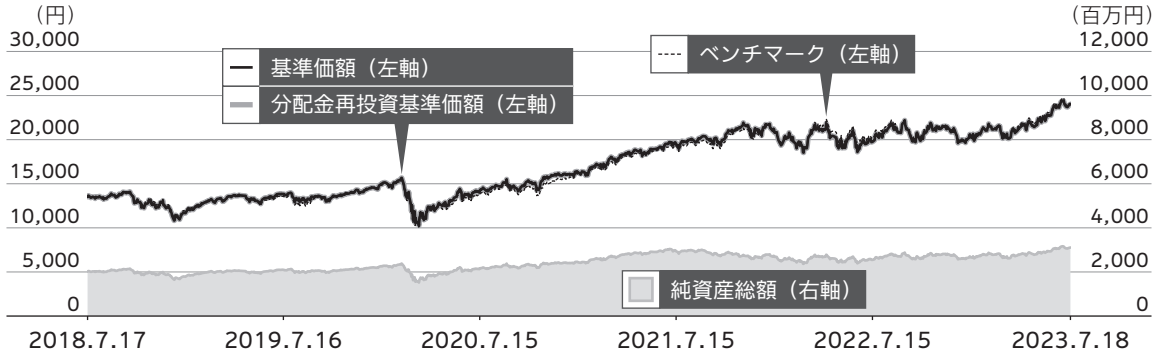
決算日		2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額	(円)	9,549	9,936	10,204	13,554	11,159	12,918
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	4.1	2.7	32.8	△ 17.7	15.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	3.9	1.3	33.4	△ 15.3	12.2
純資産総額	(百万円)	1,588	1,657	1,773	2,435	2,327	2,640

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。

2018.7.17~2023.7.18

Bコース（為替ヘッジなし）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額	(円)	13,516	13,832	14,201	19,488	19,753	24,031
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	2.3	2.7	37.2	1.4	21.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	0.4	2.0	39.0	4.7	19.9
純資産総額	(百万円)	2,015	2,095	2,154	2,937	2,548	3,108

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○米国株式市場

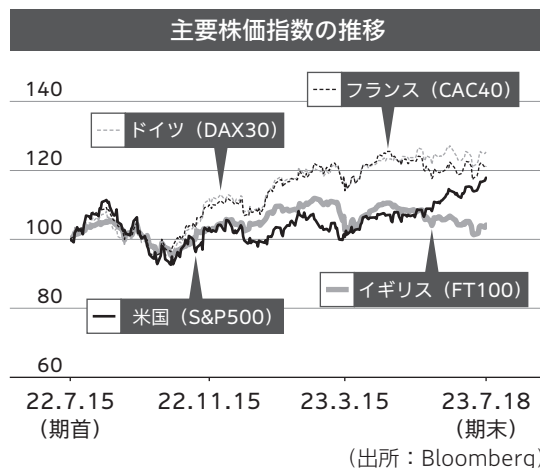
米国株式市場は上昇しました。

2022年10月中頃にかけては、堅調な経済指標から、FRB（米連邦準備理事会）による積極的な利上げが続くとの見方が強まり、下落しました。2023年2月中頃にかけては、インフレのピークアウト期待や、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げの停止について議論を開始する可能性があることと報じられたことなどを受けて上昇しました。3月中頃になると、欧米の金融不安から下落しました。期末にかけては、金融不安の後退、米上院による債務上限停止法案の可決や、今後の利上げに対する過度な懸念が緩和したことなどを受けて堅調に推移しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は上昇しました。

2022年9月にかけては、米国、英国などの積極的な金融政策によりリスク回避姿勢が強まり下落しました。2023年3月初めにかけては、2022年12月に、ECB（欧州中央銀行）理事が持続的な利上げ継続の必要性を述べたことにより下落した局面もありましたが、インフレ沈静化期待などから上昇しました。2023年3月中旬には、米国の金融システム不安が欧州にも波及し下落しましたが、3月末には金融システム不安が後退し上昇しました。期末にかけては、堅調な経済指標や利上げ懸念などにより一進一退の動きとなり、レンジ内で推移しました。



注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

○アジア株式市場

アジア株式市場は概ね下落しました。

2022年10月末にかけては、米国での積極的な利上げが継続するとの見方が強まったことや、中国の政治・経済・地政学リスクが改めて意識されたことなどにより下落しました。2023年1月末にかけては、春節期間中の堅調な消費や、半導体株が上昇し、堅調に推移しました。3月中頃になると、欧米の金融不安から下落しました。期末にかけては、中国の景気減速懸念や、商品市況安が進み軟調な展開となる局面もありましたが、米国のインフレ軟化や、ハイテク株が上昇を牽引し、下落幅を一部戻す展開となりました。

○為替市場

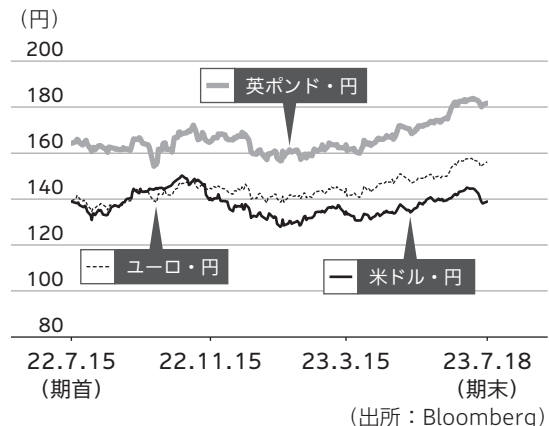
米ドルは、2022年10月にかけては、インフレ懸念の高まりなどを受けて堅調に推移しましたが、その後、物価指数の軟化や、日銀の金融正常化観測の高まりを受け、2023年1月にかけて大きく下落しました。4月以降は上昇基調で推移していましたが、期末には、追加利上げ観測が弱まったことで下落し、期を通して見るとやや円高に推移しました。

ユーロ、英ポンドは、欧州の景況感指数の悪化や、英国財政懸念が高まったことなどにより、下落する局面もありましたが、利上げ姿勢を示す欧州との金融政策の差が意識され、円に対して上昇しました。

主要株価指数の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

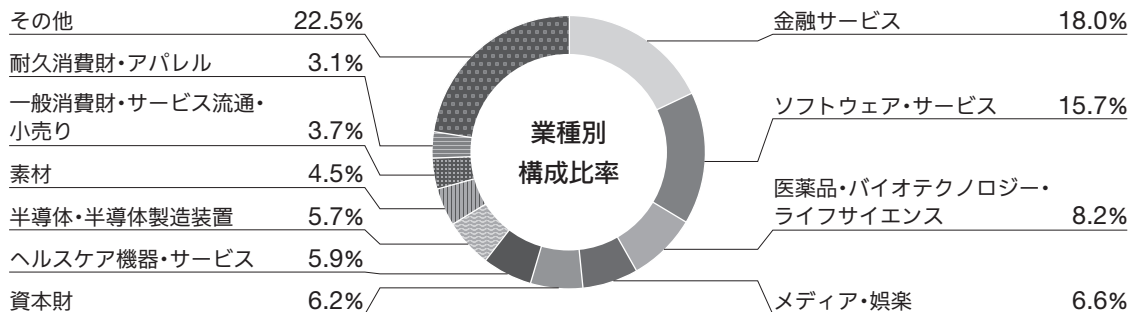
期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、実質外貨建資産については為替ヘッジを行っています。

📊 Bコース（為替ヘッジなし）

期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

🏢 損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。



注1. 比率は、第25期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

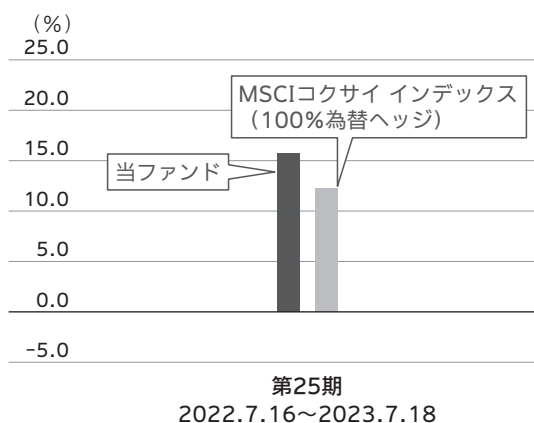
● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📁 Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の騰落率（12.2%）を3.5%上回りました。

主に、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

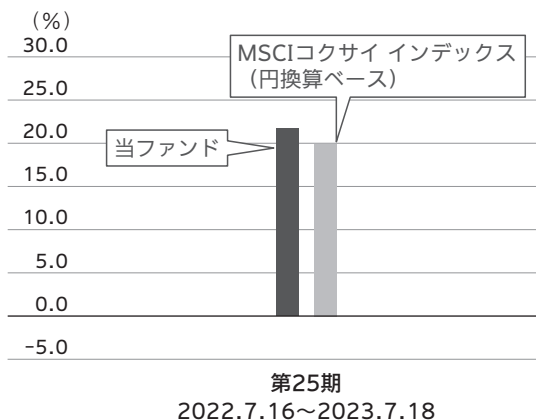


📊 Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（19.9%）を1.7%上回りました。

主に、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（19.9%）を4.8%上回りました。

主に、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

Aコース（為替ヘッジあり）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 （単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第25期 2022.7.16~2023.7.18
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,410

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第25期 2022.7.16~2023.7.18
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,444

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

Aコース（為替ヘッジあり）

引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、原則として実質外貨建資産については為替ヘッジを行います。

Bコース（為替ヘッジなし）



引き続き「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、同コースについては原則として為替ヘッジを行いません。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

米国では、インフレ指標次第で追加の利上げ実施や、金融引き締めが長期化する可能性があります。中国と欧州の経済成長鈍化が世界的な経済成長鈍化の背景となっており、これまでの米国での金融引き締め政策が経済に徐々に影響を与えていくことが予想されます。このような環境の下、景気減速に対する耐性が強く、財務基盤が強固で、優れた経営能力を持つ優良企業の発掘に努めます。

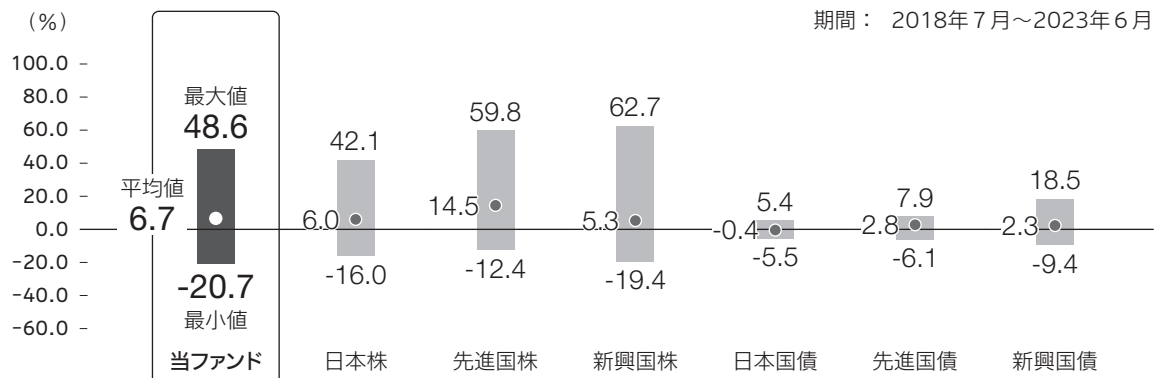
当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	<p> 損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし） 「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券</p> <p> 損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式</p>
運用方法	<p>① 日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。</p> <p>② 「Aコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 「Bコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。</p> <p>③ 各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

☰ Aコース（為替ヘッジあり）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

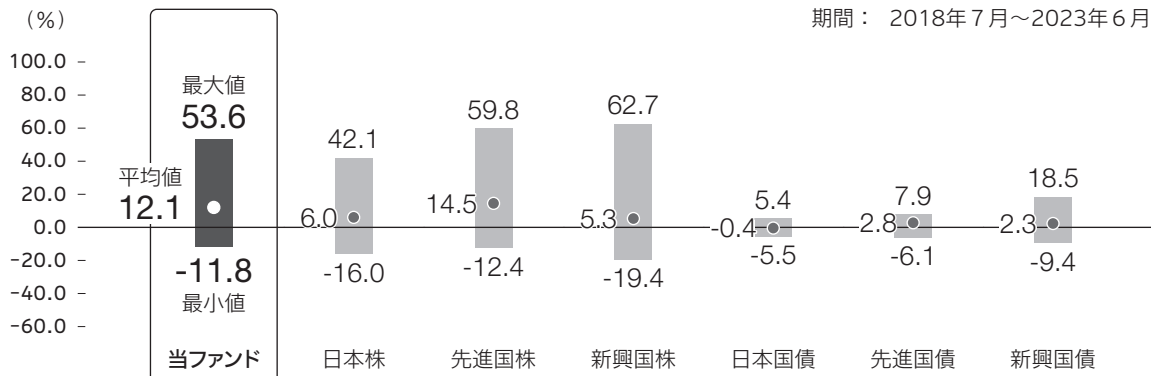
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。

☰ Bコース（為替ヘッジなし）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

● 当該投資信託の組入資産の内容

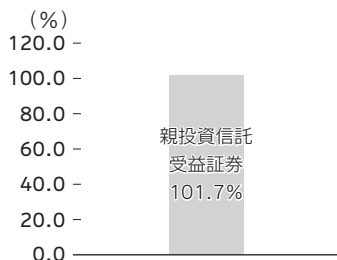
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

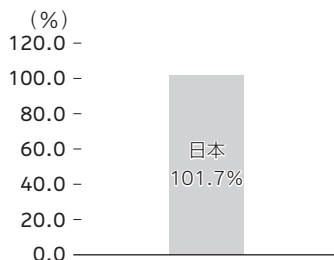
	第25期末 2023.7.18
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	101.7%

注. 比率は第25期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

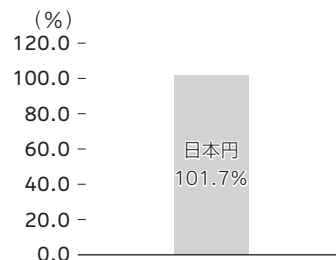
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第25期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第25期末 2023.7.18
純資産総額	2,640,081,164円
受益権総口数	2,043,675,579口
1万口当たり基準価額	12,918円

※ 当期中における追加設定元本額は364,521,266円、同解約元本額は407,014,879円です。

Bコース (為替ヘッジなし)

● 当該投資信託の組入資産の内容

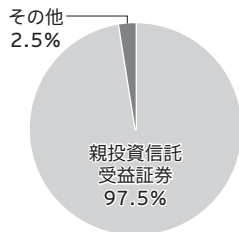
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第25期末 2023.7.18
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	97.5%

注. 比率は第25期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第25期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第25期末 2023.7.18
純資産総額	3,108,892,991円
受益権総口数	1,293,702,115口
1万口当たり基準価額	24,031円

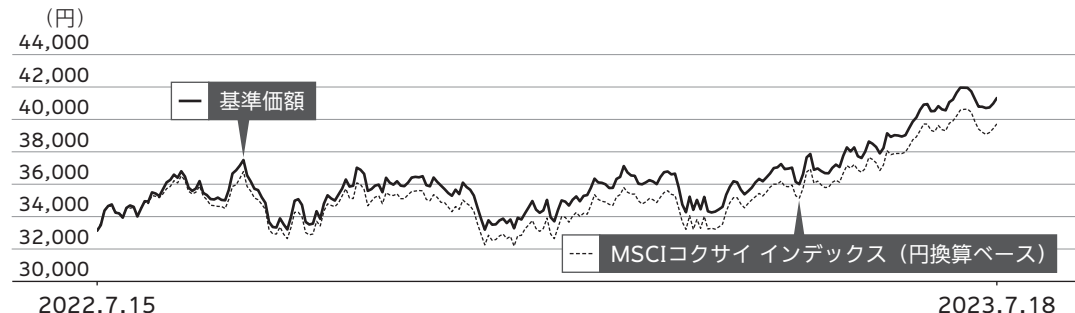
※ 当期中における追加設定元本額は179,676,950円、同解約元本額は176,229,287円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

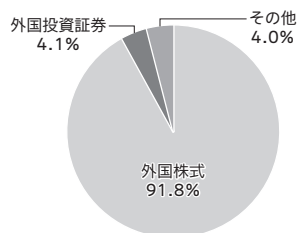
項目	2022.7.16～2023.7.18	
	金額	比率
売買委託手数料	12円	0.034%
（株式）	(11)	(0.031)
（投資信託証券）	(1)	(0.003)
有価証券取引税	2	0.006
（株式）	(2)	(0.006)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	18	0.049
（保管費用）	(17)	(0.048)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	32	0.089

期中の平均基準価額は36,134円です。

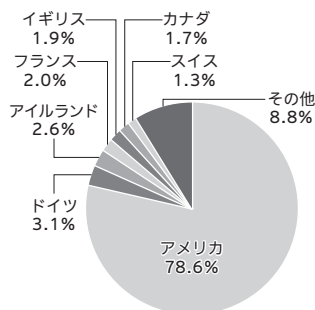
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	4.2%	
2 VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%	
3 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%	
4 FISERV INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%	
5 ORACLE CORPORATION	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%	
6 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
7 S&P GLOBAL INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
8 LINDE PLC	素材	アメリカ・ドル	アイルランド	1.8%	
9 MASTERCARD INC-CLASS A	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%	
10 MSCI INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%	
組入銘柄数		228銘柄			

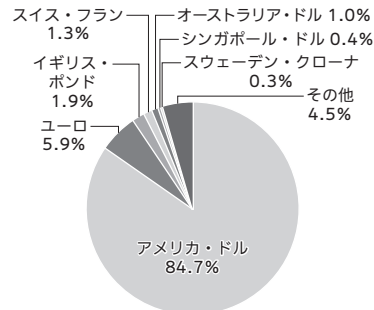
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年7月18日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）およびMSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。

同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパン・TCW外国株式ファンド コース

検索 

それぞれのコースをご入力下さい。

Aコース（為替ヘッジあり）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0874/price.html>



Bコース（為替ヘッジなし）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0875/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日
(申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。